



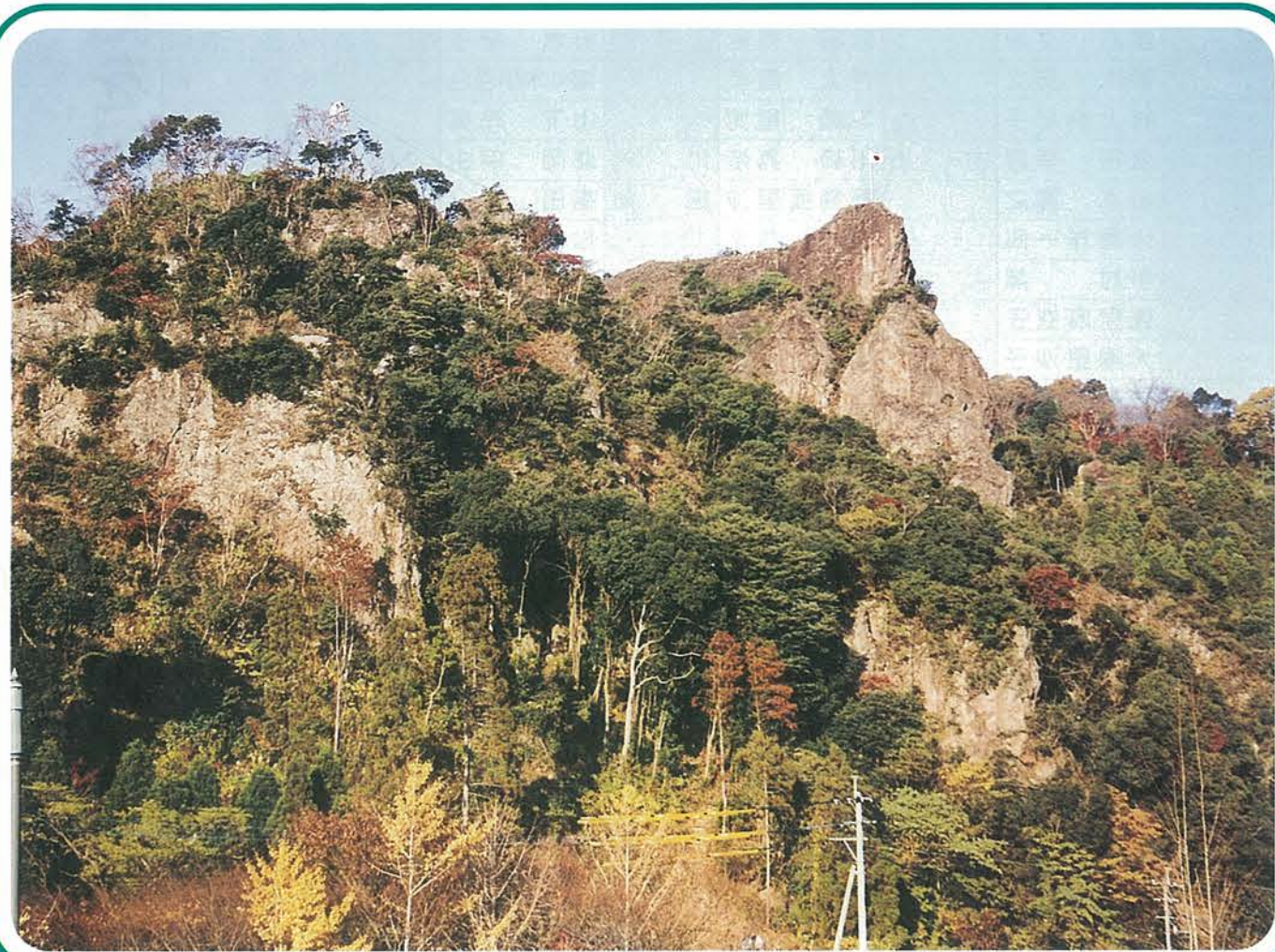
津奈木公民館
電話 (78) 5400
○右の題字は「徳富蘇峰さん」
の額を写したものです。

新設

津奈木



津中・前坂 奈央美



ゆかなくてはならないと思
います。そういう視点に立
って、津奈木町の二十一世
紀の第一歩を踏み出した
と思います。四月には、念
願の美術館が落成オープ
ン致します。「誇りの持てる
町づくり。」「町おこしの原
点は文化である。」「こう言
い続けてきた私の信念の一
つの結実がこの美術館のオ
ープンです。賛否両論、様々
な意見があると思います。
私は、美術館を、一芸術
分野の展示場とは考えてお

新年のごあいさつ 21世紀の幕開け

津奈木町長 西川 裕

町民のみな様には、清々
しい新春をお迎えのこと
と思います。私達は、いよ
よ二十一世紀の幕開けを
迎えました。ナショナルイ
ンターネット、驚異的な科学の
発達、人口の増加、地球環
境の悪化、正に激動の二十
一世紀です。この二十世紀
の残した明と暗が、二十一
世紀の始まりの条件とな
ります。圧倒的な情報技術
による膨大な情報の氾濫に
如何に対応しながら、様々
な現実の問題点を解決して
ゆくかが、政治に課せられ
た努めとなるでしょう。
ずばり、二十一世紀は環
境と心の世紀です。人類全
ての財産である地球資源と
環境を守りながら、テク
ノロジーの対極にある人間の
心の豊かさを大切に育て



子ども美術館 (5)

「将軍神社」

赤崎小六年 千々岩 麻未

赤崎にある日羅將軍神社です。11月には、盛大
に將軍さんまつりがあります。毎年赤崎太鼓や踊
りで参加します。相撲力士の五太夫さんのお墓も
あります。



お知らせ

成人式御案内

平成13年の成人式は、文化センターで
1月3日(水)の午前10時から開催します。
成人者の皆さん誘い合わせて参加して下
さい。

(受付)

午前9時30分から10時まで

※ 受付は早めをお願いします。

親子「たこあげ」大会

参加者募集

●日時 平成13年1月21日(日)

午前10時から12時まで

●場所 津奈木総合グラウンド

(いろんな賞を準備しております。)



昨年・雨の中を力走する田口選手

ご声援下さい 三太郎駅伝大会

来る一月十四日(日)、二十
一世紀のスタートを飾る県
内で最も古い第五十一回熊
日三太郎駅伝競走大会が行
われます。大会当日は、水
俣市役所前を午前10時にス
タートし、湯ノ見海岸道路
を抜け、津奈木・芦北の三
太郎峠を越え、田浦町農業
就業改善センターをゴール
とする六区間(中学生十区
間) 41kmのコースに各チ
ームの熱戦が期待されます。

なお、本町からは一般の
部二チーム、中学生の部一
チーム(津奈木中学校単独
チーム)が予定されており、
選手は大会に向け日々練習
に励んでいます。
町民皆様の絶大なる応援
をよろしく願います。

(本町通過予定時刻)

総合グラウンド前	10時25分
新川橋	10時30分
中学校前	10時35分
千代畜産碑前	10時45分

(一般本町代表候補選手)

宮嶋弘行、松永 進、川野

(中学生代表候補選手)

山口和久、篠原恵美、佐々
木夏紀、松田結夏、福田康
秀、津奈木祐太、津々木護、
農添啓一、西平喜郎、藤原
恵美、堀田大樹、野崎慶祐、
池田翔平、長友亮太、津奈
木将宣

又男、林田佑一、福田 必、
森山広行、松永 清、藤原
審二、田口伸二、清水良一、
平野新市、倉野義彦、倉本
健一、前田守康、齊藤拓巳、
宮島哲男、吉野貴則、農原
由二郎、堀田将豊、竹本昌
広

編集後記

新年明けまして
おめでとうございます。
いよいよ二十一世紀の幕開
けを迎えました。皆様と共
に、この世紀が平和で、幸
多いものになるように英知
を出し合い、汗を流したい
ものです。さて、町の木
(杉)・鳥(山鳥)・花
(つばき)を津奈木中学
校の生徒さんがデザイン化
してくれました。町で決定
した正式のマークではあり
ませんが、傑作ぞろいでした
ので、数点を公民館報の一
ページの飾りに使用する
ことにしました。

祝成人
21世紀を君たちの力で!!

成 人 者 名 簿							
地 区	氏 名	地 区	氏 名	地 区	氏 名	地 区	氏 名
竹 中	林田 展臣	新 川	濱本 亮	倉 谷	堀井 千春	平国下	村上 真弓
	本山 龍誠		新立 ルミ		前田 真実		山口麻衣子
	高塚 祐輔		濱本 寛代	内 野	井上 敬		長濱 久恵
	日野 史子		川崎さおり		大川 知佳		野崎 理佳
染 竹	緒方 文明		宮田 有紀	上 下 門	折木 紀子	日 当	平田 達則
	穂本 英文		村上 智美		津々木小百合		松田 拓
	村上由紀子		下崎 星児		山下 玲葉		板崎 美和
浜 崎	永田 幸喜	古 川	川崎 晃奈	川 内	北岡 麻由		岩崎 ミコ
	宮本 寛之		野島亜里沙	福 浦	福田 浩介	日 添	篠原 恵亮
	大園洋一郎		川崎 ちえ		松崎 拓実		松永 智子
	小村 薫	大 泊	柳迫 靖浩		福山 善久		吉野明日香
	磯見麻衣子		新立 将範		福田 安奈		林田 理奈
	大園里沙子		椎葉 直		福山由紀子	小津奈木	松永 浩輔
	永柄 千秋		柳迫 光		福山ちひろ		石田 高広
桜 戸	斉藤 三平		新立 麻佳	平国上	平野 毅		永田 一晃
	原田 純子		新立 瞳		長濱 由樹		福山 晶子
	石塚友紀子	中 尾	農口 浩平	平国下	濱田 智則	辻	森本 直樹
町 中	塩山 智之	古中尾	農原由二郎		長濱 耕輔	※ この名簿は中学校 卒業名簿を参考につ くりました。	
	元村 晃		園木 雄一		山口 隼人		
	吉本 由紀	倉 谷	坂本 好隆		千々岩直人		

※ この名簿は中学校
卒業名簿を参考につ
くりました。



林田 理奈

「成人」「大人」自分の行為に責任を持つ事だと思ふ。この先色々な事が伸し掛かってくる。その為にも沢山の人につき合い沢山の経験をし、心身を鍛えていく必要がある。そして、色んな意味で成長していかなければならない。



山口 隼人

今度成人を迎えました
が、二十年間はとても早か

私は美容師の道に進みまだ二年たらずの経験で色んな面で未熟ですが、一生この仕事に従事していきたいと思っていますので、中途半端ではなく最後までやり遂げたいと思います。

小学校の頃から野球を始めたように思います。

高校校までやっていましたが、サッカーの方が見ていて楽しいので2002年W杯は絶対見に行きたいと思っています。これが実現できればいいです。

現在、就職し働いていますが、このごろ毎月をただ何となく過ごしているの
で、これからは目標を持っていろいろな事にチャレンジ
していきたいです。



成人になつて
私の決意



折木 紀子

小さな頃から抱いていた夢は、大人に近づくにつれて色々変化してきた。今、私は大学に通い、ここでまた新たな事を学んでいる。そして具体的に将来を見つめるようになってきた。



農原由二郎

成人になるということは
自由を手に入れると同時に

責任というものも与えられていると思う。だから、妥協して生きていくのではなく、目標を持ってそれに一歩でも近づけるように、私はこれから努力していきたいと思う。

を自分で決められる人になりたいと思う。だれかの意のままに操られるのではなく、自分の意志で動きたい。もちろん他の人の意見が、正しかったらその人の意見を尊重したいし、多くの人の

成人を迎えるにあたって

の意見も大切にするつもりだが、最後の決断は自分で下したいと思う。たとえ結果が間違っても納得できるし、他人のせいにして、自分の人生から逃げ出さない人になりたい。

地域安全運動啓発作文

最近、高校生の年代による凶悪事件が相次ぎ社会的に問題になっています。こうした社会現象に対して、管内の高校生がどのような考えをもっているのか、こうした問題に真剣に取り組んでもらう意識を啓発する目的で高校生の作文募集があり、本町の村上君が優秀賞に選ばれました。



心の叫び

水俣高校一年 村上 浩章

最近十七歳という年はあまり良い印象を持たれなくなってきた。その原因は、ごく一部の十七歳の少年が犯してしまった凶悪事件によるものだ。言うまでもなく、十七歳ばかりが事件を犯しているわけではない。それなのになぜ十七歳ばかりがこんなにも注目されてしまうのだろうか。

拶をしない事に関しては何事もなかったように通り過ぎていく。これはどう考えても挨拶した方は良い気分にはならないはずである。

このように、人としての人間性が欠けている十七歳が多いのは事実である。したがって十七歳に注目が集まったのは、このような人達に対する警告だったのだ。

はないだろうかと思は考え
ている。

必要があると思う。大人の人から、「最近の十七歳は……。」と言われてもおかしくない行動をとっている人が多すぎる。具体的に例を挙げてみると、大人の人が挨拶したにもかかわらず、それを返そうともしない。注意されたら素直に受け入れず反発する。と、いくつかが挙げられる。特に挨拶

では、なぜ十七歳は凶悪事件を起こしてしまったのだろうか。それについて僕は、こう考える。まず、動機を聞いてみると、「やってみたかった」と言っている。しかし、本当にそれだけの理由で事件を起こしたのか。僕は、その「やってみたかった」という言葉の中にはその少年の気持ち

鮮明に刻まれていると思うのだ。

「やってみたかった」と言う言葉を素直に聞き入れれば、もうそれだけで立派な動機となる。しかし、よく考えてみると、その言葉の中には、強い後悔と不安、そして当時その少年の置かれていた社会への強い反感がひしひしと伝わってくる。きっと少年はその時悩みを抱いていたと思う。しかし、その悩みは誰にも打ち明けられず、あの様な行動に出たのではないかと思う。それと同時に、社会への不安感を抱き、そしてそれからの重圧に耐えられなくなつた結果、少年は事件を起こしてしまったのだと思う。どちらにしろ、一人では解決するには困難な問題だったのかも知れない。

少年は、あるいはこの様な事件を起こす気はなかったのかもしれない。この事件を起こした事で何か自分の事を伝えたかったのではないかと思う。僕は、この事件では、少年の心の叫びがあらわになっていたのではないだろうかと思う。少年はきっと助けを求めている。しかし、自分を無視しているかのように社会は動

く。それは少年にとつてとても歯がゆかっただろうし、その反面とても強い孤独感を味わっていたのだと思う。僕がその立場に立った時、恐らく周りにいる人々、あるいはすべての物事において「信じる」事が出来なくなっていたと思う。その点において、この少年が事件を起こしたという事実は、当然考えられるものだったのではないだろうかと僕は思う。

では、一体どうすればこれからの少年達の心はいやされるのかを考えてみたい。これらの少年達の心は深く傷ついていると思う。もちろん何かを言った所で、その少年達の心の傷は簡単にはいやせないと思う。一番大切なのはその少年達に自分で自分の道を切り開かせる事だと思う。他人から言われた事をやっていても、きっと何も解決しない。だから、周囲の人がその少年達の話を聞いてあげる事が道を切り開かせる事につながっていくのだと思う。時に会話とは強大な力を發揮する事がある。落ち込んでいる時は、それを話す事によって、気分がよくなったり、話を聞いてく

あけぼの大学
社会探訪記
十一月二十九日朝七時三十分文化センター前を貸切

りバスで熊本へ向けて出発
自衛隊では案内の方に出
迎えられ、資料館を見学し
その後、五十周年記念のビ
デオを見て、いかに自衛隊
の隊員が活動しておられる
かがわかりました。昼には
カロリーを計算された食事
を食堂で隊員の人達と一緒に
とりました。約二千人の
食事をつくられるそうで炊
事班も大変だろうと思いま
した。食事後、津奈木出身
の隊員が十二人おられる中
の四人の方とお会い出き元
気に活動されておられるの
で安心いたしました。

自衛隊北駐屯地は敷地二
〇〇万坪、隊員三千人とい
うことで、近い内に米国よ
り二〇〇人位の人々が来て、
合同訓練があるとのこと



たぐさんのテントが張られたり、新しい隊舎が完成していました。自衛隊は十人位の班、その上が分隊、小隊、中隊、大隊と組織され、すぐ出動できるようになっているそうです。

その後、熊本城の旧細川刑部邸を見学。庭のもみじが真赤に紅葉し、とてもきれいでした。

往復のバスの中では林僧侶の楽しい立派な講話のビデオを見ながら、楽しく有意義な一日研修をいたしてきました。（六車不二子）

(六車不二子)

「えっ、面接の時は、父です。と言った方が無難だよ。普通そう言うよ。」…私
何と私は、父（娘からすれば祖父）に対してやきもちを焼いていたのである。
父は、平成四年、七十五才で亡くなった。仕事は教師で、校長経験もある。
別に父が校長をしていたから家族に尊敬されているわけではなく、退職してから父の活動に娘は尊敬し

ているのである。その活動は広く、老人会や地域の健康教育指導や看護学校の体育及びダンス等指導、柔道師範、保護司そして理髪の免許と亡くなるまで奉仕的活動を続けていた。そのせいで、父の通夜・葬儀には、斎場に入り切れないほどの高齢者の方々のご来場を頂いた。
教師時代はもちろん、退職後も私がどれだけ頑張ってもおいつけない父の偉大

さを知るがあまり、私は、父の仕事をした地域を意識的に避けてきた。
今、私は、父の後を追いつつも、私自身にできることを模索している段階である。幸い長女も今年教師にな

が校長時代に大事にしていたふるさと阿蘇の写真を私も飾っている。その写真に平成十一年四月「我がふるさと阿蘇をみつめ初心を忘れず、平国小の子どもたちを愛し、職員を思いやり、地域を敬い、自らを律す。」と、したためた。このしたためたことを忠実に実行していくことが、私自身にできることかもしれないと思うからである。
いずれにしても亡くなった父を今でも意識して仕事をすることはできないかもしれない。

くずれたる石垣の根の陽だまりに
冬あかし草の緑は
野田 浦子
納屋解きし跡に植えた鶏頭の
花穂はほむらの如くにゆるる
寺本ツルヲ

師走の風、二十世紀の大掃除
じれったさ、早よん先は言わん
かい 白足袋
師走の風、二十世紀の大掃除
じれったさ、何べん言えよかも
ねろ 寅之助
〔次回の笠〕
一笠一句を 二月九日（金）迄
津奈木町教育委員会へ



みんな花が大好き!!
森 東子さん(59) (桜戸)
干拓の花の道をこ
存知でしょうか。数
年前まで草が生い茂
り、どうにか出来な
いものだらうかと、
近くにお住まいで花
好きの森さんは、ひ
とりで荒地を耕して
こられました。毎年
少しづつ整地され、
花づくりに励んでお
られたところ、みる
みるうちに人目を魅



を引き受けてもらって現在
では二〇〇mばかりの立派
な花壇となりました。
きれいな花に道行く人も
一本、二本と頂かれていく
そうです。いろんな地域か
ら移り住んで来られた干拓
の人々が、花を通して和や
かな人の和を築いておられ
ます。
二十数年来この地区に住
んでいる私は、美しく変わ
りゆく干拓の姿を見て嬉し
く思います。向こう三軒両
隣り、お年寄りも元気に加
わり自慢の花や野菜の交換
も賑やかです。

ちようどこの時季は、苗
の植付けが終わったばかり
で花は少なかつたのです
が、やって来る春には一面
咲き揃うことでしょう。み
んな花が大好きなのです。
(石田記)

短 歌
本郷武雄選
風荒き突堤にいて海に向く
犬の眼のかなしげに見ゆ
西 滋子
ひび割れし亡母の手のひらに
霜濃き朝の遠き風い出
白浜美和子
たわわなるピラカンサスは日毎増す
朱の朝日を受けて輝く
福田八重子

肥後狂句
師走の風、今年は特に冷めたかな
じれったさ、早よう言わね結論
を 神無月
師走の風、どこかしこも四苦八
苦 達生
じれったさ、一寸通じんこの気持
ち
師走の風、大金持ちへ吹いてくれ
じれったさ、好きなら好きで言
なっせ 万葉
師走の風、二十世紀の吹き納め
じれったさ、早よん先は言わん
かい 白足袋
師走の風、二十世紀の大掃除
じれったさ、何べん言えよかも
ねろ 寅之助
〔次回の笠〕
一笠一句を 二月九日（金）迄
津奈木町教育委員会へ



先日、グランドゴルフをやったが、子供からお年寄りまで幅広く楽しめるスポーツだと実感した。これを実施するにあたり何度か区長はじめ役員が集まって、何が地域の人達を気軽に参加させ楽しませる事が出来るか話し合った結果このグランドゴルフをする事



に決まった。当日多数の参加者があり、各班ごとに分かれてお互いに初対面の人にもいる中いるんなハブニングあり、笑いありで楽しいひとときを過ごす事が出来た。この後、婦人会の人達によるだご汁やバーベキュー、そしてビンゴゲームと楽しく和やかな内に終了する事となったが、この活動を通じて感じた事は、人と人の交流の場を多く持つ事が大事だと思った。いま機

わが町の文化財・石造物(23)
『津奈木町千代塚の碑』
節婦、平川サメの碑
昭和九年七月死去 75才
高サ77cm、巾27cm、台座
高サ70cm、巾90cm
節婦平川サメ、文久元年八月九日生、資性温順夫に事ふるに貞節節偶々明治四十年、夫馬次中風症に罹り医療に務めしも其効なく半身不随となり全く身体自由を失った。家計の不如意は彌が上にも甚しきを加え此の重症なる病夫の看護を



双肩に負つ、一方に於ては貧苦と戦い晨に起き夜半に寝、僅かに糊口を凌ぐの資を得るに難く真に辛酸苦痛の状、聞く者として感涙に咽せしむる者があつた。
されどサメ女の夫に対する貞節は聊も厭う状なく二便を取替へ、夏期は毎日自から負うて浴湯せしめ、冬は温湯を以て身体を清拭し只看病夫の健康快復に勉めた。其の献身的行為は世人の同情を得て商も次第に順調に進み稍生計に窮せざるに至った。之れ徳孤ならず必ず隣あるの謂であらう。かくてサメ女の貞節は其節に聞える所となり、県知事からの賞状を受くるに至った。大正七年三月十九日 熊本県知事正五位勲三等 太田政弘

水道の蛇口をひねる時「この水はどこから流れてくるのだろう」と思うことがあります。
昔は水がきれいだったと聞いてます。でも今は洗剤や工場の排水、ゴミ等で汚れてしまっています。川は、日本人の喜びも悲しみも知っているというのに。
昔の人々は川のほとりに住み、桶で水をすくって飲んでいました。やがて水路を引き、水田を切り開いていきました。
そんな日本の川ですが、外国人から見ると「これは川ではない。滝だ。」となるそうです。世界で一番長い川はロアール川、二番目はコロラド川ですが、標高となると日本の川の方が高く、そのために流れが急で雨が降っても一気に海に流れ落ちてしまいます。日本

読書感想文
「川は生きている」を読んで
津奈木中1年 實光 昂星
僕がこの本を読んだで強く感じたことは、これから川とつき合っていくのはますます難しいだろうということです。少しづつでも、協力することができたらいいいなあと思います。そのためにも、まずは身近なことから始めようと思います。



は決して水の豊かな国ではないのです。
水の氾濫を抑えることを治水といいます。日本人の治水は世界中でも非常に優れているそうです。しかし最近の日本では水害がだんだんとひどくなるばかりです。少しの雨でも家が水につかったりしています。
水不足にもなっています。ダムを作っても足りません。そのためでしようか、「水を大切に」というポスターを見かけることがあります。
僕がこの本を読んだで強く感じたことは、これから川とつき合っていくのはますます難しいだろうということです。少しづつでも、協力することができたらいいいなあと思います。そのためにも、まずは身近なことから始めようと思います。

は決して水の豊かな国ではないのです。
水の氾濫を抑えることを治水といいます。日本人の治水は世界中でも非常に優れているそうです。しかし最近の日本では水害がだんだんとひどくなるばかりです。少しの雨でも家が水につかったりしています。
水不足にもなっています。ダムを作っても足りません。そのためでしようか、「水を大切に」というポスターを見かけることがあります。
僕がこの本を読んだで強く感じたことは、これから川とつき合っていくのはますます難しいだろうということです。少しづつでも、協力することができたらいいいなあと思います。そのためにも、まずは身近なことから始めようと思います。

